

サマーフェスティバル開催される

新型コロナウイルスの影響で延期されていた、ねりまシニアネットワーク主催の第18回サマーフェスティバルが3年ぶりに開催されました。

8月28日(日)練馬駅前区の民・産業プラザ「ココネリホール」において、約110名を超える会員の参加を得て盛大に行われました。第1部では、全体的な活動報告、新同期会「ココネット」の紹介、そして大泉落語研究会の「すつと亭小粋」さん・「遊子家悲恋」さんによる落語が行われました。また、第2部では、恒例の「各テーブル対抗クイズ大会」に続き、新企画の「出店(セカンドライフ・ミニブリッジ・チャリティーオークション・バス旅行・歴史講演・マジック)」に係るプレゼンテーション・出店巡り、交流タイムが行われました。

なお、今回は新型コロナウイルス第7波が収束しない中で開催でありました。このため、感染対策に力を注いだ形態での実施となりまして、マスク着用・検温・消毒・換気の基本対策の徹底に加え、会場での密集の回避や、オードブル提供の中止等の対策を講じました。

サマーフェスティバル委員会 事務局

美濃 眞一郎 ↓



司会者



クイズ シャンケン対決



落語



新同期会紹介

新同期会「ココネット」挨拶

2022年度の同期会として「ココネット」が発足しました。新型コロナウイルスで2年間同期会発足が見送られたとお聞きして、「コロナ禍を過こしている昨今でも、笑顔を絶やさないコミュニティ作りを目指す意味から会の名前を命名しました。

「ココネット」の会のメンバーの一人お一人が、会社現役時代に職場で培った賜物を、勇退して又新たな地境で隣人・同じコミュニティに属する人の為に、生かす・つなぐ・そして自分自身が豊かになることを考えています。メンバーが培ってきた趣味や特技を活かした活動を積極的に推進して、楽しくそして長続きする分科会を目指します。

「ココネット」の会では事務局を(事務局係)設け、役員とメンバーの情報共有をはかることに務めて行きます。

また、これから来年以降立ち上がる新しい会の為に、新同期会発足の為のメニュー作り等も検討して行きます。

どうぞよろしくお願いたします。

「ココネット」会長 小泉 謙治

【会員のひろば】

《私が出会ったロシア人》

「ロシア禍の下で何も出来ないまま、私は4月で86歳になった。このまま後どのくらい時間が残されているのか来し方と共に考えている時、2月24日ロシア軍のウクライナ侵攻が始まった。

私が小学校1年生になったのは昭和18年（1943年）旧満州の内モンゴル自治区のジャライノールの町で、学校の周囲は見渡す限りの大草原であった。そこは鉄道で大興安嶺山脈を越えてハイラルと満州里（マンチュリー）の間であり、北にロシア連邦・西にモンゴルとの国境に接していた。特に満州里はロシアとの国境にあり、シベリア鉄道の発起点であった。駅ではソ連軍の守備隊と満州国関東軍の守備隊が、駅の半分ずつ銃を構えて守備にしていた。ロシア革命の後なので、ジャライノールには革命を逃れたロシア人達が住んでいた。

私は日曜日には空の一升瓶を持って牛乳を買いに行っていたが、私よりの歳上のロシア人の少女が待っていて搾乳するところを見せてくれた。そして一升瓶の半分くらい牛乳を入れてもらって持ち帰っていた。また休日には草原の中を流れていた川で釣りをしている人、馬に乗って放牧の手伝いをし

ているロシア人の少年がやって来て手伝ってくれた。

1年後父の仕事の都合で少し南に下がった吉林（チーリン）市に移動し、その小学校に転校したが、ここで3年生の夏、日本の敗戦となった。旧満州に侵入したソ連にとっては、講和条約締結により終戦となるので侵攻を続けた。ある日来客と思っただけに私に一人のソ連兵が自動小銃を突きつけて「チャースタイバイ」と言った。後から知ったが「腕時計をよこせ」であった。学校では近くの関東軍司令部から派遣された兵長から伍長級の兵士の指導により、匍匐前進や手榴弾の投げ方を教えられていたので、怖いものとても口惜しかったがどうしようもなかった。でもその後、少しロシア語を習った。

同時期に旧満州では、蒋介石率いる国民政府軍と毛沢東の共産軍が戦っており郊外の大砲の音が響いていたが、日本人を含め一般人が住む地域には打ち込まれなかった。

ロシア軍によるウクライナ侵攻で、一般人の殺りくも学校を砲撃するなど最高指揮者の人間性の問題なのだろうか。

八展会 西村 郭田

サマーフェスティバル

出店の感想

【マジック】

介護施設でボランティアとして、マジックを見せてきましたが、「ロシアでその機会も無く少し不安でしたが、虹の会の菊池さんの支援もあり、好評のうちに終わることが出来ました。会員の皆さんの好奇心の旺盛さには驚かされました。皆と一緒に楽しめるマジックの工夫が足りなかったかも知れません。

他の出店の様子は分かりませんが、今回の試みは良かったと思います。私自身も懐かしい出会い・新しい出会いがありました。

ふたば会 田村 年治



【バス旅行】

今回3年ぶりのサマーフェスティバルの企画の一つとして、出店形式の「バス旅行」がありました。他のブースの見ていただけで楽しい手品や、チャリティーオークション等と違って派手でもなく、観覧参加型のブースでない為、本当に立ち寄りしてくれる人がいるのか心配でした。しかし、前もって皆様の前でスピーチをした為か、次のバス旅行に関心をもって立ち寄ってくれた人が10人以上いて、ホッとしました。今所、私の最後のバス旅行は来年の秋を予定しています。皆様の協力の元、無事に発車出来る事を願っています。

さわやか17 阿部久美子



【編集後記】

「ロシアの影響で若干制約があったものの、一大イベントのサマーフェスも無事開催出来ました。出店という新しい試みて盛況に終わったと思います。今後も新しい企画で活性化を目指していきます。」(S)